

音楽科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置など、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うためにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造してこうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。 </p>	
資 料	<p>○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトにはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○表現教材や鑑賞教材の譜例の使い方など、楽譜の提示方法にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取扱いにはどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<p style="text-align: center;">小学校音楽 音楽のおくりもの</p>	<p style="text-align: center;">17</p> <p style="text-align: center;">教 出</p>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、発達の段階を考慮して題材や教材を配列し、弾力的な活用ができ、また継続的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学び合う音楽」「音のスケッチ」では、児童が思考・判断したことが表現しやすいように、スタートとゴールを示すなど活動の見通しがもてるような具体例が効果的に示されている。 ○聴き取った「音楽を形づくっている要素」を基に個々の音楽を捉え魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かした演奏技能を身に付けたりするような、教材の選択や扱いに配慮されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○児童の主体的な学びをサポートするために、透明シートを活用したり、児童が学習の際に音楽を言葉で表した資料を巻末に掲載したりしている。 ○多様な学びに対応するために、「まなびリンク」として、目次にQRコードを載せ、学習に役立つ情報をWEBコンテンツとして紹介されている。 ○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に広げることができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す写真やコラムが配置されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○身の回りで見つけた音を生かした音遊びや即興的に表現することを音楽づくりの活動につなげられるよう全学年「音のスケッチ」として系統的に各学年の発達の段階に配慮した学習内容の工夫がされている。 ○わらべうたや各地のお祭りの音楽や民謡などが豊富に掲載され、選択教材として和楽器にチャレンジできる内容が盛り込まれたり、身の回りの楽器で和楽器を模した音の奏法が記載されていたりと工夫されている。</p>	
資 料	○教材に合わせた写真を使用し、視覚的に情景が想像しやすい工夫がされている。イラストも教材のポイントに沿っているため、学習活動を進める際の手立てとなるよう工夫されている。 ○学習の際の手立てとして透明シートが使用され、分かりやすく工夫されている。 ○巻末には音楽の要素がまとめられており、一目見て理解しやすい配色にて掲載されている。 ○「Short Time Learning」では、教科横断的な教材が全学年に配置されている。 ○鍵盤ハーモニカの鍵盤部分が実物大写真で掲載され、楽器と連動させて使える工夫がされている。	
表記・ 表現	○教材が見開きになっており、教科書の大きさや楽譜、文字の大きさ等も発達の段階に応じている。 ○学習指導要領外の内容は「はってん」とし、記号や用語については、巻末や別枠に示されている。 ○題材ごとに通し番号が振られ、題材のまとまりが示されている。 ○〔共通事項〕が教材ごとに「音楽のもと」として示され、3年～6年はメモ欄が付けられている。	
総 括	○歌唱共通教材は、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるよう「にっぼんのうた みんなのうた」として配置され、写真、資料からも曲の背景を知る手掛かりとなるよう工夫されている。 ○紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がされている。著作者の創造性を尊重する視点から、名前に振り仮名を加えている。	

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">小学生の音楽</h1>	27 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 芸</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、題材や教材が系統的・発展的に配列され、積み重ねや繰り返しの学習ができるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童の思考の流れに沿うような活動手順が示されていて、図や写真が効果的に配置されている。楽器の持ち方や奏法が図や写真で具体的に紹介されている。 ○作品例やワークシート例、グループ活動時の会話を吹き出しにより例示し、児童が表現に対して思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするための情報が示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○児童が主体的に学習に臨むことができるように、1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」のページや、1年間の学習を振り返ることができる「振り返りのページ」を設けている。 ○多様な学びに対応するために、曲紹介や動画などのコンテンツを閲覧できるQRコードを、教科書の内容に対応させ活用できるように工夫されている。 ○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促すコラムや特集が配置されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○身の回りで見つけた音を音楽づくりの活動を関連づける活動が全学年「音楽づくり♪」として取り入れ、音がもつ働きや役割、生活を豊かにすることへの気付きにつなげる写真やコラムの記載など工夫されている。 ○地域のお祭りや音楽に親しみを感じながら興味関心をもって学習できるよう、体験型の鑑賞学習を取り入れた内容を記載したり、調べ学習の観点や方法を写真や絵で示したりするなど工夫がされている。また、演奏者からのワンポイントアドバイスが配置されている。</p>	
資 料	<p>○教材のポイントが色の濃淡やイラスト、写真（撮影場所を明記）により区別され説明されているため、視覚的にも理解しやすい工夫がされている。</p> <p>○楽器の演奏法がページ内に示されているため、学習をする際の手立てとなるよう工夫されている。</p> <p>○巻末には該当学年の鑑賞教材で主に学習する作曲家の説明が写真と共に掲載されている。</p> <p>○「君が代」の扱いを全学年に配置するとともに、写真やコラムが工夫されている。</p> <p>○階名唱のサポートとなる音階が楽譜に示されている。</p>	
表記・ 表現	<p>○楽譜と縦書きの歌詞が見開きで、楽譜等の表記も発達の段階に応じている。</p> <p>○記号や用語については、巻末や「新しく覚えること」として別枠に示されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号が振られ、題材のまとまりが示されている。</p> <p>○〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が教材ごとに示されている。</p>	
総 括	<p>○古くから伝わる風習や風景などが歌われている歌唱共通教材では、「こころのうた」として配置され、歌詞や曲が生まれた背景を記載し、生活や社会との関わりを捉えやすくなるように工夫されている。また、指導の手立ても掲載されている。</p> <p>○紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がされている。歌詞の内容や写真には、道徳教育や人権教育に対する配慮がされている。</p>	

音楽科 調査資料 2

○分量について

内容	学年	教出	教芸
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	80	82
	2年	80	82
	3年	86	86
	4年	84	86
	5年	86	86
	6年	84	86
2 挿絵、写真、イラストの数 ※ 一定のまとまりをもって一つとカウントする	1年	207	185
	2年	203	188
	3年	206	235
	4年	220	232
	5年	181	181
	6年	109	172

○学習活動別教材数について

内容	学年	教出	教芸
1 歌唱の教材数 (うち楽譜のない教材数) ※ 2と重複しているものもある	1年	41 (15)	39 (17)
	2年	36 (3)	36 (8)
	3年	29 (0)	29 (2)
	4年	29 (0)	27 (2)
	5年	31 (3)	25
	6年	28	25 (1)
2 器楽の教材数 (うち楽譜のない教材数) ※ 1と重複しているものもある	1年	14 (2)	23 (1)
	2年	17 (1)	13
	3年	27 (1)	30
	4年	16	13
	5年	13	11
	6年	12	8
3 音楽づくりの教材数	1年	9	6
	2年	9	5
	3年	7	4
	4年	5	4
	5年	7	2
	6年	5	2
4 その他の表現の教材数	1年	3	5
	2年	2	5
	3年	2	2
	4年	3	2
	5年	2	2
	6年	2	7
5 鑑賞の教材数	1年	23	10
	2年	13	14
	3年	10	11
	4年	37	107
	5年	65	15
	6年	6	12

内容	学年	教出	教芸
6 表現と鑑賞の活動の関連を図った教材数 ※ 1～6と重複してカウントする	1年	5	7
	2年	8	6
	3年	4	3
	4年	5	5
	5年	4	5
	6年	4	3
7 歌唱、器楽、音楽づくりの活動の関連を図った教材数 ※ 1～6と重複してカウントする	1年	11	16
	2年	15	12
	3年	17	11
	4年	9	10
	5年	9	5
	6年	7	5

○その他

内容	学年	教出	教芸
1 我が国の音楽（表現・鑑賞）の教材（題材）数 ※ 民謡等紹介はそれぞれカウントする ※ 外国曲の編曲は除く ※ 前項の教材数と重複してカウントする	1年	19	16
	2年	13	13
	3年	9	23
	4年	39	65
	5年	67	30
	6年	13	19
2 音符、休符、記号、音楽にかかわる用語の解説の数 ※ ページ単位でカウントする	1年	1	2
	2年	4	6
	3年	4	12
	4年	10	11
	5年	10	11
	6年	7	7